

## 「熱中症」への意識と対策を

令和7年6月から、「WBGT値28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えての実施」が見込まれる作業について、熱中症対策を強化するために改正労働安全衛生規則が施行されました。弊社の業務はこれに該当するために社員に①症状を認識すること ②気づいた時の手順 ③体制の整備 ④全社員への周知を行っています。皆さまに役立つ情報もあるので、紙面展開します。少しでも皆さまにお役に立てますように。

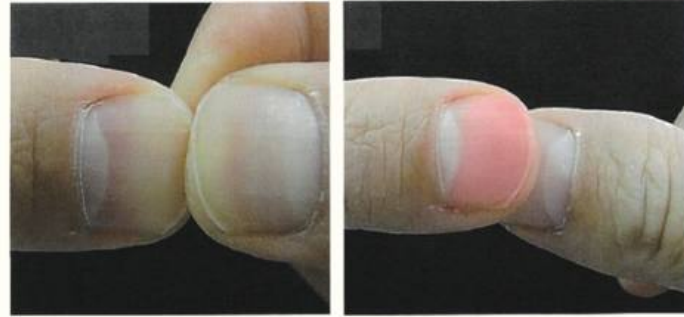
### 日頃の「熱中症」チェック！

#### 尿の色でセルフチェック

- ① いい感じですが、普段通りに水分をとりましょう。
- ② 問題はありませんが、もう少し水を飲みましょう(コップ1杯程度)。
- ③ 1時間以内に約250mlの水分をとりましょう。尿外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。
- ④ 今すぐ250mlの水分をとりましょう。尿外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。
- ⑤ 今すぐ1000mlの水分をとりましょう。この色より濃い、あるいは赤/茶色が混じっているときは、脱水症以外の病態が考えられます。すぐに病院に行きましょう。

身体の水分量が不足

#### 爪押しでセルフチェック



②～⑤  
水分を補給して  
身体の水分量を  
回復させましょう

⑤より濃いときは  
すぐに病院して下さい

手の親指の爪を逆の指でつまむ  
つまんだ指を離したとき、白かった爪の色がピンクに戻るのに3秒以上かかれば脱水症を起こしている可能性があります

### 症状・対応・予防

#### ☆ 熱中症を疑う症状 ☆

めまい・筋肉硬直(つる)・大量発汗・頭痛・倦怠感吐き気・嘔吐・意識障害・けいれん・手足の運動障害

意識がない

迷わず  
119番  
救急車を  
呼ぶ!

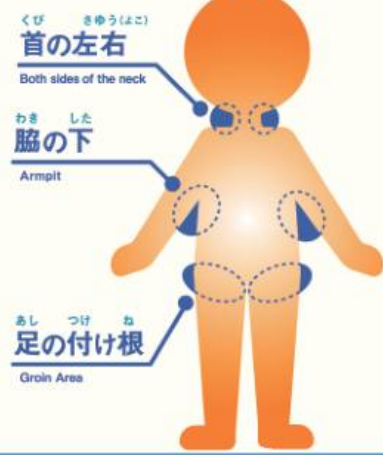


意識はある

到着まですること

- ① 涼しい場所へ避難
- ② 衣服やベルトをゆるめる
- ③ 首筋・両脇・両足付け根に保冷剤(脱衣して水をかける・団扇であおぐ)
- ④ 水分・塩分補給(経口補水液・食塩水・スポーツドリンク)

#### 体の熱を冷やす場所



#### ～ 予防法 ～

- ☆よく寝る(エアコンを適切に使用しぐっすり眠る)
- ☆しっかり食べる(特に朝食:水分・塩分・糖質を意識する)
- ☆二日酔いしない(飲みすぎは利尿作用で脱水状態になってしまう)
- ☆熱中症警戒アラート確認(不要な外出X。外出時は水筒・帽子忘れずに)
- ☆適宜水分・塩分補給する(のどが渇いてなくても補給をする)
- ☆適度な運動で基礎体力向上を(歩く:30分~/走る:15分~)

### New Face 新しい仲間のご紹介

「かごしまの青い海を次世代まで繋ぐ!」理念に賛同した新しい仲間です。研修を受け、順次配置されますので、ご指導ください!

#### 宮之前正人(みやのまえまさひと)

・R7年5月入社  
・住まい:鹿児島市冷水町  
・コメント:誠実に対応することをモットーに取り組めますので、どうかよろしくお祈りします。保守点検業務に従事させていただきます予定です。



#### 岩橋竜也(いわはしたつや)

・R7年6月入社  
・住まい:鹿児島市唐湊  
・コメント:早く業務を覚えるように、一生懸命頑張ります。清掃業務に従事する予定です。ご指導ください。



#### 川崎弥琴(かわさき) ※伊集院事務所

・コメント:早く慣れるように頑張ります。お立ち回りの際は事前にご連絡くださると助かります



#### 小山田可純(こやまだ) ※本社管理部

・コメント:早く仕事を覚えられるように頑張ります!



# かたいもんぞ

第72号

発行所 株式会社文化社  
本社 鹿児島市新栄町22-26  
TEL 099-256-0075  
出張所 鹿児島市石谷町488  
支店 日置市伊集院町1264-8

平成15年5月創刊 「かたいもんぞ」は、<http://bunka-inc.jp>にてご覧いただけます。72号は令和7年8月半ばより配布開始しています。



社長:土屋 要九



@BUNKASHA, RECRUIT

今年も6月後半の梅雨明けから、酷暑環境下となり、社員に過分なご厚情を頂いておりますことに感謝申し上げます。熱中下で皆さまより賜わご厚情は、社員にとってのカンフル剤となって効いています。衷心より拝謝申し上げます。

さて、終戦から80年が経過する今年、戦中・戦後が風化するといわれています。海外では、紛争や戦争によって多くの方が亡くなり残された方々が想像を絶する環境下にある現在、弊社では戦後70年に続き、今回もわずかですが、そのことに関する聞き取り内容を掲載しています。地元紙でもその体験談がありますが、必ず最後は「戦争は絶対してはならない」という強いメッセージが添えられています。ゲームやSNSでは口にはいけぬ言葉がたやすく使用され、影響を受けた子供たちが何の悪気もなく良くない言葉を口にします。地域に生かしていただいている弊社では、実際の体験談を紙面にて共有することで「地域の皆さまの平和や豊かさの実感」に微力ながらも貢献することも「文化的な地域づくり」の役割と認識しております。

また、新人紹介が続く紙面となりますが、弊社でも人材難・採用難が続いており、以前とは世相が違っていると感ずります。すべては小生の至らなさに尽きるのですが、以前と比べて人財の剥奪戦がより激しくなっています。ご縁をいただく皆さまの「いつもの生活をお支えさせていただく」ことが第一義ですが、その先にある「青い海と鹿児島の豊かな自然」は「私たちの仕事の結果であり、私たちにしかできないことなんだ」ということを説いています。これからも、お客さまへの目配り、気配り、心配り、言葉配りを実践し「安全に、法を遵守し、双方最善で、高い品質」を判断基準にして励みますので、変わらぬご指導をお願いいたします。くれぐれも皆さまにおかれましてはご自愛くださいますようお願い申し上げます。

### ボランティア 公園遊具点検 / 八重山登山道整備

4月30日、恒例の鹿児島市管工事組合主催の「公園遊具及び水廻り機器の点検ボランティア」が開催され、弊社も約15公園を点検して回りました。管工事組合所属の会社を中心に、市内全公園を分担して点検や清掃をする活動です。



また、同日は手分けして「八重山登山ハイキング道の整備ボランティア」も行っています。本格的なハイキングシーズン到来前に、ハイキング道に覆いかぶさってしまった倒木や朽ちた木々を払い、安全にハイキングを楽しめるようにする整備活動です。



### 社内勉強会 社内勉強会 ~プロワ講習会~

浄化槽必須の「プロワモーター」。「ダイヤフラム」というゴムの反発力を利用して空気を送るモーターが主流ですが、弊社では「ピストン」主体のモーターを扱っています。長持ちするのでお客様のためには結果としてこちらがお得になります。それを大量に仕入れてできるだけ安くお分けしていますので、御用時は社員までお問合せください。

社内にてそのメーカーさんをお招きし「修理講習会」を開催しました。実機を用いた実践的な研修を行い、初心者からベテランまで幅広い社員が参加しました。普段の業務では得られにくい知識や技術を共有する貴重な機会となりました。技術向上への意欲が高まる有意義な時間となりました。



2025年、第二次世界大戦の終結から80年という節目を迎えました。戦争を直接知らない世代が大多数の今だからこそ、その記憶を風化させず、地元の先輩方の体験を繋ぎます。

# 戦後80年 地元の先輩方の記憶

お客さまの戦中戦後を生き抜いた体験の共有を通して、戦争の現実と平和の尊さを継承。過去を知り、未来を守る力へ——そんな願いを込めて、ご紹介します。

(戦時中)、国民学校の3年生で錫山に住んでいました。食べ物も少なく貧しい生活をしていても苦しかった。実際に空襲被害を受けることはなかったが、警報が鳴るたびに防空壕の中へ。また、外国の兵士が近辺に居ると噂を聞くことがあれば逃げていたのを覚えています。街中空襲被害を受けていて、親戚もその犠牲を受け、親戚家族がかわいそうだった。(お住い：下福元)

戦時中は知覧に住んでおり当時9歳でした。住んでいた場所は知覧の特攻基地近辺だったので、空襲被害を受けることもありました。空襲警報が鳴るたびに防空壕に逃げ込み、防空壕がない時は岩陰に隠れたりと身を潜めている時はとても怖い思いをしました。特攻隊員を見送る機会があり、その時はみんな涙を流していました。私は戦時中に父(41歳)を亡くし、今は父の倍以上の年齢になりました。複雑な気持ちもありますが、食べ物にも困らない不自由なく生活できている今の時代が本当に幸せだと思います。(お住い：清和)

桜島の後ろから急に飛行機が飛んできた。大隅側から市内方面に飛ぶその飛行機は、桜島から一気に急降下で降りてきてしばらく水面すれすれを飛行すると急浮上していた。あとから聞いた話だったが、「真珠湾攻撃の練習」だったのではと言われていた(お住い：鴨池)

から芋を見ると今でも思いがわいてくる。戦時中はとにかく芋だけだった。芋があっただけでもありがたいが、とにかく嫌というほど、芋しか食べられなかった。

私は戦後生まれなので当時の記憶はありませんが、両親から聞いた話だと、戦後ではありましたが、戦争の影響で食べ物に恵まれず毎日からいもを食べたり、その辺の草を食べてる人もいたそうです。そんな苦しい状況を乗り切るために、大人たちはよく歌を歌っていて、私も真似をして歌っていたのを覚えています。(お住い：下福元)

戦争を経験した方々の記憶は、私たちが平和を守るための大切な道しるべです。その声に耳を傾けることは、過去を知るだけでなく、未来を築く第一歩でもあります。戦後80年という節目に、私たちは「平和の意味」をもう一度見つめ直し、次の世代へと語り継いでいく責任があります。静かな日常の中にこそ、平和の尊さがあることを忘れずに。皆さまのご家庭で平和について語り合うきっかけとなることを願っております。

## お客様紹介 吉野町 吉永さん

吉野町の天神山団地にお住いの吉永詠子さん。実は吉永さん、小さな庵の僧侶さん。仏画を描いたり本を読むのがお好きで、インドなどの仏教国に旅行に行ったり、仏教書や江戸物の文庫本を1日1冊のペースで読んだりして、学んだ法話や旅のお話を庵や老人ホームでされているそうです。また、ラジオ体操は欠かさず続けて30年にもなるそうで、お顔も若々しくとてもご健康そのものです。吉永さんは、本も出版されており、法話はYouTubeでも発信しているそうですので興味のある方はお問い合わせさせていただきませんか。



固執せず、突っ張らず、欲をかかず水のようにサラサラと流れていくと、日本の中、地球の中、宇宙の中でひと時を生かされていると思えます。せつかくの人生、ありがたく楽しくゆったりと流れていきましょう。(直指庵HP住職より要約)と教えて下さるのは、岡之原町の直指庵の鎌田住職さん。東京泉岳寺で出家得度、福井県永平寺で修行されてから、仏教や、禅を通して人々のお役に立てればとの思いで、平成2年に鹿児島県にお帰りになり、今日に至っておいでとのこと。曹洞宗(禅宗)。山形屋さんの門で托鉢をされたり、ロシアのウクライナ侵攻の際は宗教を超えて世界的に平和を願う活動をされたり、庵で写経会や座禅体験会などもひらかれています。

## お客様紹介 岡之原町 直指庵さん



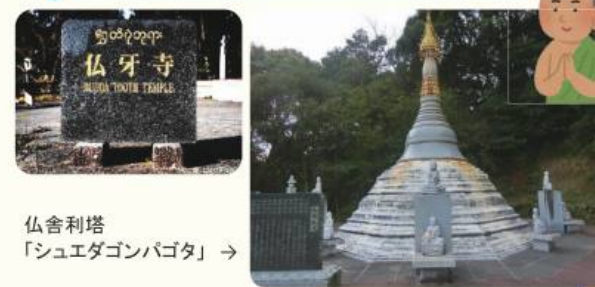
## お客様紹介 田上台 薩摩長谷寺さん

住職の大川妙光さんは、なんと政治家秘書や事業家として活動した経歴をお持ちです。鎌倉・長谷寺慈光殿の名称で分院として開山され、宗教法人に改称され「単立」となっています。本堂はもちろん、馬頭観音像、水子地蔵、水神様などが祭られており、馬頭観音像には、地下99mからくみ上げる「延命水」という御神水があるそうです。ご近所さんのみならず遠方より汲みに参られる方もおいでです。月例祭の合同祈願や供養は日程をホームページでご確認下さい。「供養・祈願・瞑想」は事前のご予約を。自分の心と向き合う、心や体調を整える等の「瞑想行」はまず、「体験」もできるので、本当の自分を見つめる機会にさせていただきます。



花尾町の山の奥にひっそりと佇む南泉院は、約8,000坪の敷地の所々に仏様の像が点在しています。「一隅を照らすもの国の宝なり」天台宗の開祖・最澄さんの言葉を掲げている宮下亮善住職。藩政時代の南泉院は、現在の照国神社の地にあった大きなお寺で、廃仏毀釈により廃寺になったそうですよ。小野町には、歴代の南泉院住職のお墓もあります。また、日本でもあまり見ることのない、ミャンマーとの友好の仏舎利塔「シュエダゴンパゴタ」があります。ご活躍が多岐にわたる宮下住職ですが、特に、長年にわたりミャンマー山間部の学校建設や教育支援に携わっておられ、そのご縁でパゴタが建立されたそうです。一見価値ある仏塔です。

## お客様紹介 花尾町 南泉院さん



仏舎利塔「シュエダゴンパゴタ」→

※このほかに「平川町の総本山鳥帽子山最福寺」さんや「石谷町の永福寺」さん他のお客さんにもお世話になっております。紙面の関係でこちらのご紹介はまた改めて。

## お客様紹介 地域の方とのふれあい

八重山棚田でのイルミネーション撤去作業をしていた際、使用していた竹の棒が余っていました。ふと近くで畑仕事をされていたK様の姿が目にとまり、「畑で使えるかもしれない」と思い、10本ほど差し上げました。それから数日後、「お野菜ができたから取りにおいで」と、K様からご連絡をいただきました。お言葉に甘えて伺うと、丹精込めて育てられた新鮮なお野菜を分けてくださったのです。思いがけないご厚意に、心がじんわりと温まりました。小さな気遣いが人と人とのつながりを生むことを実感し、私自身も、改めて日頃お世話になっているお客様に対して、こうした心配りを大切にしていきたいと感じました。いただいたお野菜は、とても美味しく、ありがたく頂戴しました。本当にありがとうございました。



## 全国特別重点調査(下水道)



ことし1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管が原因とみられる大規模な道路陥没を受け、国は全国の自治体に「全国特別重点調査」を指示し、優先的に調査する箇所を示しました。鹿児島市では県内で最も大きい管径2.4mの汚水管と雨水路がその対象となり、危険発生リスク調査という責任ある業務を担いました。担当した区間は、産業道路、県庁周辺の下水道管。「幹線」といって、各家庭から流れこむ排水が、あちこちから集まるまさに家庭排水の集積する大きな下水管路です。臭いはもちろんですが、ガスが発生し、たびたび事故も発生しているような危険な環境です。通常は人が入れないほどの量と流れがあるので、処理場と協力して水位が減る深夜2時ころから有害ガス検知機で安全を確認後、転落防止の命綱をつけて潜行します。管路内を調査する専用ロボットカメラを管下わずかなスペースで組立て、設置して調査をします。調査はロボットがしますが、管底でのロボット組立、管底への設置、微妙な調整は管内ですべて人が行います。皆さまのいつも通りの生活をお支える弊社の業務は鹿児島市内の中心部でも、粛々と行われています。

